

本院眼科を受診された患者さん・ご家族の皆様へ

～検査時（2015年1月～2022年3月）に採取された眼科検体他の医学研究への使用のお願い～

【研究課題名】

イムノクロマト法*を測定原理とする眼感染症抗原迅速検出キットの性能評価・予備試験

*イムノクロマト法とは、抗原抗体反応を利用した検査方法のことで、結果（判定ラインの発色）を目視で確認することができるため、簡便かつ迅速に検査結果が得られます。

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2015年1月から2022年3月の間に、「新規眼感染症網羅的PCR検査ストリップ開発に関する多施設共同研究」に参加された方および本院（眼科）を受診され、PCR検査を含む眼感染症の検体検査を受けた方や手術を受けた方

【研究の目的・方法について】

ヘルペスウイルスに対するウイルス抗原迅速検出キットは、皮膚科領域では使用されていますが、眼科領域においては検査用に採取される検体（組織など）が微量であるため、同キットを用いた評価が難しいこともあり、現在、感度の高い保険適用のキットはありません。今回、皮膚科で用いられている単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルスに対する高感度のウイルス性抗原迅速検出キット、および新しく開発したサイトメガロウイルスというウイルスに対する高感度のウイルス性抗原迅速検出キットについて、将来の保険適用に繋がるよう、残りの検体を用いて予備評価を行います。保険適用となれば、普段の治療の場に普及し、ヘルペス性ぶどう膜炎の診断率が上昇し、失明に苦しむ患者さんが減少すると期待されます。本研究では、過去に実施した「新規眼感染症網羅的PCR検査ストリップ開発に関する多施設共同研究」で頂いた残りの検体および通常の治療で得られた検体の残りを我们用います。なお、本研究で得られた結果をこの研究の依頼者であるマルホ株式会社へ提供します。

研究期間：西暦2022年3月25日～西暦2024年3月31日

【使用させていただく試料・情報について】

本院におきまして、既に「新規眼感染症網羅的PCR検査ストリップ開発に関する多施設共同研究」に参加された患者さんおよび本院（眼科）を受診され、PCR検査を含む眼感染症の検体検査を受けた方や手術を受けられた患者さんの眼科検体（試料）を医学研究へ応用させていただきたいと思っております。その際、組織を調べた結果と診療情報（例えば病名）との関連性を調べるために、患者さんの診療記録（情報：カルテ番号・病名・PCR結果・診療経過・備考等）も調べさせていただきます。

なお、本研究に患者さんの組織（試料）及び診療記録（情報）を使用させていただくことについては、大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく試料・情報の保存等について】

眼科検体（試料）の保存は論文発表後5年間、診療情報については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、眼科検体（試料）は焼却処分し、診療情報については、シュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への試料・情報の提供】

本研究の依頼者であるマルホ株式会社への患者さんの情報の提供については、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。なお、マルホ株式会社へ提供する際は、研究対象者である患者さん個人が特定できないよう、氏名の代わりに記号などへ置き換えますが、この記号から患者さんの氏名が分かる対応表は、大分大学医学部附属病院眼科の研究責任者が保管・管理します。対応表は、マルホ株式会社を含む外部機関には提出しません。なお、取得した試料・情報を提供する際は、記録を作成し大分大学医学部眼科学講座で保管します。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

大分大学医学部附属病院眼科 中野聡子

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来体外診断用医薬品などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、キットを製造するマルホ株式会社からキットや試薬の提供を受けます。

【利益相反について】

この研究は、キットを製造するマルホ株式会社からキットや試薬の提供を受けます。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究における利益相反について大分大学医学部臨床研究利益相反マネジメント委員会での審査を受けており、利益相反はありません。

【研究の参加等について】

本院用

本研究へ試料および診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

	所属・職名	氏名
研究責任者	大分大学医学部附属病院眼科 助教	中野聡子

【既存試料・情報の提供のみを行う者】

九州大学大学院医学研究院眼病態イメージング講座 准教授 八幡信代
いしづち眼科 院長 鈴木 崇

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5904

担当者：大分大学医学部附属病院眼科 助教 中野聡子（なかのさとこ）